

## 学校教育目標

## とみえの子「徳・未来・英気」

5月の振り返り…運動会の頑張り・成功が自信になった！

| 良かった点   | 気になる点   |
|---|---|
| 1. 運動会での頑張り（ここ3年間で最高）<br>(1) 子供たちも、職員も、達成感があった<br>○ 練習ごとに、良くなる手応え<br>→本番で、力を発揮できた<br>※ 一部、余力を残し「出し切らない」姿が見られ、惜しまれる！ | ① 名前を呼ばれて、返事ができない<br>・我々教師も、できているか？<br>※ 呼名、指名されたら返事をして立ち、考えを言えるようにしたい。                                       |
| 2. 「徳を積む」子供たちの姿<br>(1) 友達の手伝いを喜んでいます<br>(2) 学校のために役立つことを進んで行う   | ② 「ちょっとズレた」行動<br>・トイレのスリッパを並べて、シューズのままスリッパを履く<br>・雑巾掛けを頑張った後、壁に雑巾を投げつける<br>※ ソーシャルスキルが身に付いていないだけ。根気強く指導を続けよう。 |
| 3. 遅刻者数の減少（昨年度 5月との比較）<br>・R5：32名 → R6：11名  | ③ 廊下や下駄箱に飾っている植物、きちんと世話をしているか？  |
| ◎ 上手くいっているときほど、子供たち一人一人に目を向けよう。<br>→トラブルは、必ず起きる。「まさか」より「もしか」の意識をもとう。  |   |



## 「魔の6月」を吹き飛ばそう！

※富江っ子の心をしっかりと見つめよう  
 ※非認知能力育成を意識して、指導法の工夫を積み重ねよう

| 趣 旨   | 留 意 点   |
|---|---|
| 1. 「分かる・できる」授業<br>(1) 授業のねらいを明確にする<br>(2) 思考を促す発問<br>(3) 明確な作業指示<br>(4) 教師の短い語り<br>(5) まとめ・振り返り | (1) 学校生活の大半は授業。わくわくさせたい。<br>(2) 全てを「教え込む」のではなく、「考えを引き出す」発問の工夫。<br>(3) 教師が「教えたい」「言いたい」を我慢し、子供に「言わせる」「表現させる」。<br>(4) 本時で「何が分かったか」「できるようになったか」メタ認知させる。 |
| ◎ 学力向上プランを全職員が意識し、足並みを揃えて取り組む   |   |
| 2. 個人研究テーマ、業績評価目標を意識して、実践を進める<br>(1) 「非認知能力の育成」を意識して、指導法の工夫をする。                                 | (1) 結果だけを見て子供たちを評価するのではなく、「やろうとしていること」を見逃さずに声かけをする。<br>(2) お互いの研究テーマを開き合い、相互にアイデアを出し合いながら、指導法の工夫を模索する。  |
| 3. 道徳教育の推進<br>(1) 心を見つめる教育週間の充実   | (1) 道徳科授業で道徳性を養う<br>(2) 道徳的行為を主体的に選択し、実践する場の設定  |
| 4. 心を耕す読書   | (1) 読書量に加えて、読書の質にもこだわりたい  |
| <b>意識を揃えて取り組もう</b>  |   |
| ○ 安全に気を付けよう   | ・「は・さ・み」歩きをがんばろう<br>・交通ルールを守ろう  |